

ダイバーシティ推進センター働き方見直し推進委員会

WSI通信 Vol. 15

NAGASAKI UNIVERSITY 2021.7
Work Style Innovation

「長崎大学ワークスタイルノベーション（WSI／働き方見直しプログラム）」は、ライフイベントおよびワークライフバランスに配慮した職場環境の実現を目指し、それぞれの業務・職場における課題改善にPDCAサイクルで取り組むプログラムです。

「WSI通信」では、参加チームの取組の様子や、働き方見直しに役立つ情報・ツールなどをご紹介します（季刊予定）。

令和3年度 参加チームの決定

病院
産科婦人科

病院
小児科

医院
麻醉科

●PDCAサイクル

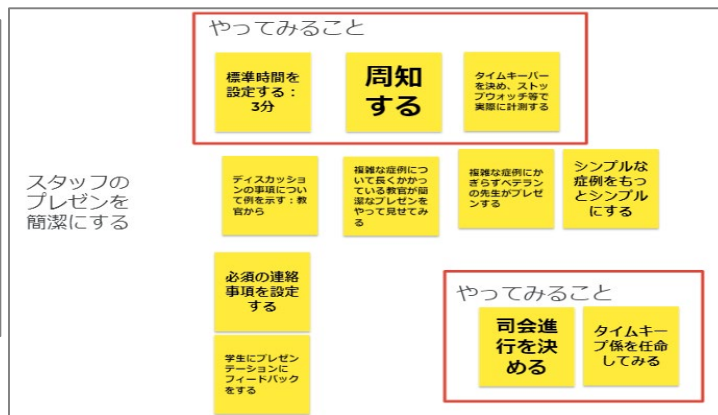
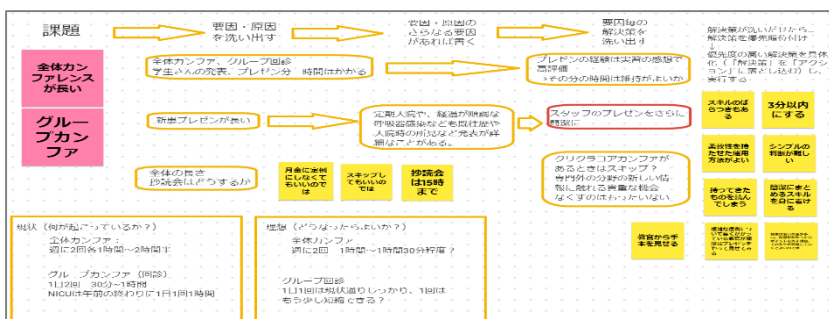


長崎大学ワークスタイルイノベーションの取組 7 年目となる今年度は、大学病院 3 チームがプログラムに取り組むことになりました。各チームがゴールイメージを決め、ゴールイメージに向かうようにコンサルタントが牽引し、「働き方見直し推進委員（認定ワーク・ライフバランスコンサルタントの有資格者）」が各チームの定例会に参加し、プログラム遂行状況を把握・サポートを行います。

今年度も、定例会等全てオンラインにて実施、Jambordを活用しオンライン上でワークを実施しています。

小児科チーム

今年度、初めての参加の小児科チーム。育児中の女性も多く、いろいろな働き方をされている医師がいっぱいます。キックオフでは、【こんなチームで働きたい】の要素として、『相談しやすい』『違いを受け入れ尊重し合える』『何でも話せる』が出ました。また、事前アンケートから現在の課題として、カンファレンスについての時間や内容等について意見を出し合い、早速取組を始めることとしました。



産科婦人科于一ム

昨年度に引き続き、取組を継続する産科婦人科チーム。キックオフで出した現在の課題について、効果が高く難易度の低い取組からスタートすることになりました。また、大きな課題について『チーム編成の見直し』についても取組を進めていくために協議を始めています。



WSI通信vol.15 発行：国立大学法人長崎大学ダイバーシティ推進センター

【お問い合わせ】

国立大学法人長崎大学 **ダイバーシティ推進センター**

TEL : 095-819-2889 (内線 : 3468) FAX : 095-819-2159

MAIL : omoyai_working@ml.nagasaki-u.ac.jp <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp>



「男性育休時代に求められる働き方 ～誰が休んでもまわる職場を作る～」

どなたでも参加できますので、ぜひお申込みください。

【対象】学内教職員、学生、大学院生、一般

【日時】令和3年8月2日(月)16:00～17:30

【受講方法】zoomウェビナーによるオンライン

トクホホホホ

テーマ
男性育休時代に
求められる働き方
8/2
16:00～17:30 (月)

誰が休んでも
まわる職場を作る

開催方式
オンライン形式
〔Zoomウェビナー〕

申込はQRより



申込締切
7月23日(金)



参加費無料

株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長

YOSHIE KOMURO

講師
小室 淑恵

1000社以上の企業へのコンサルティング実績を持ち、残業を減らして業績を上げるコンサルティング手法に定評があり、残業削減した企業では業績と出生率が向上している「産業競争力会議」民間議員など複数の公務を歴任、2児の母。

(お問い合わせ) 国立大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター tel095-819-2889 <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/>

2022年春から、改正育児介護休業法が施行され、男性の育児休業を、組織から本人に個別に案内・打診することが義務付けられます。一方で、厚生労働省の調査結果によると、上司によるパタニティーハラスメントが66%で、4割もの人が取得を断念しています。こうした中で、マネジメント層は、男性が育児休業を取得しても、問題なく回る職場づくりはどう作ったらよいのでしょうか？ 男性の育休取得は組織の業績にプラスになるのでしょうか？1000社のコンサルティングをしてきた中から、具体的な他社事例と共にご紹介いただきます。

トクホホホホ